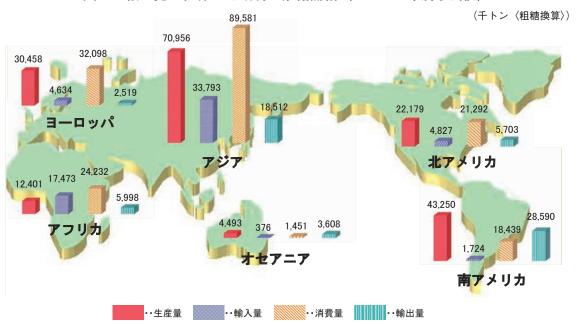
砂糖の国際需給

調査情報部 塩原 百合子

1. 世界の砂糖需給(2021年9月時点予測)





資料:英国の民間調査会社LMC International 「Quarterly Statistical Update, September 2021」

注1:年度は国際砂糖年度(10月~翌9月)。 注2:ヨーロッパには、ロシアを含む。

LMC International (農産物の需給などを調査する英国の民間調査会社)による2021年9月時点の予測によると(以下、特段の断りがない限り同予測に基づく記述)、2021/22砂糖年度(10月~翌9月)の世界の砂糖生産量は、1億8374万トン(粗糖換算〈以下、特段の断りがない限り砂糖に係る数量は粗糖換算〉、前年度比0.5%増)とわずかに増加すると見込まれる(表1)。アジアやヨーロッパなどでは前年度を上回る一方、南アメリカでは主産地であるブラジルの生産量減少の影響を受けて前年度を下回る見通しである。

また砂糖消費量は、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) のパンデミックは依然として継続しているものの、インド、EUやインドネシアなど一部地域での需要回復により、1億8709万トン(同1.1%増)とわずかな増加が見込まれる。

期末在庫率は、期首在庫量が前年割れとなる中、 消費量が前年度から増加することで、前年度比3.4 ポイント減の38.3%と見込まれ、2016/17年度以 来初めて40%を下回る見通しである。なお、地域 別の砂糖需給の予測値は、図1の通りである。

表 1 世界の砂糖需給の推移

(単位: 千トン〈粗糖換算〉、%)

年 度	期首在庫量	生産量	輸入量	消費量	輸出量	期末在庫量	期末在庫率
1991/92	37,165	115,339	30,325	109,187	30,367	43,275	39.6
1996/97	48,284	126,217	34,491	118,126	36,946	53,920	45.6
2001/02	61,989	138,052	42,292	137,347	44,299	60,687	44.2
2006/07	56,404	164,685	46,737	155,847	49,829	62,150	39.9
2011/12	48,128	177,086	56,859	169,637	58,665	53,771	31.7
2016/17	69,822	180,387	70,759	181,369	71,288	68,310	37.7
2017/18	68,310	195,522	65,812	180,831	67,836	80,978	44.8
2018/19	80,978	186,449	61,050	183,930	61,477	83,070	45.2
2019/20	83,070	181,593	69,434	182,323	70,796	80,977	44.4
2020/21	80,977	182,911	64,837	185,059	66,484	77,182	41.7
2021/22 (2021年9月予測)	77,182	183,737	62,827	187,092	64,929	71,725	38.3

資料: LMC International 「Quarterly Statistical Update, September 2021」

注1:年度は国際砂糖年度(10月~翌9月)。

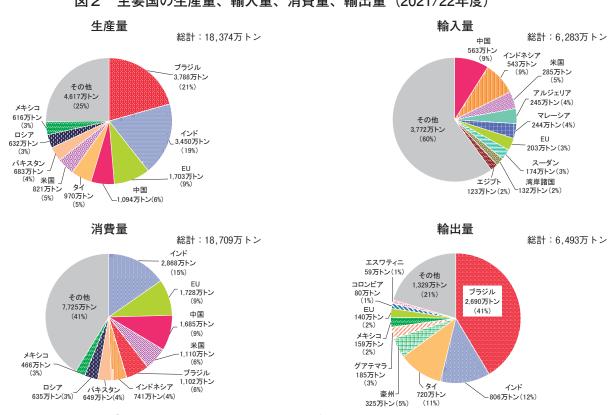
注2:2019/20年度および2020/21年度の数値は推定値、2021/22年度の数値は予測値。

注3:期末在庫量は(期首在庫量+生産量+輸入量-消費量-輸出量)。

注4:期末在庫率は、期末在庫量を消費量で除した割合。

2. 主要国の砂糖需給(2021年9月時点予測)

図2 主要国の生産量、輸入量、消費量、輸出量(2021/22年度)



資料: LMC International 「Quarterly Statistical Update, September 2021」

注1:年度は、各国の砂糖年度。

注2:各数量においては、その主要国とその他を表示。

注3:「その他」は、総計から主要国の計を差し引いた数値。

注4:端数処理の関係で内訳の合計が総計と一致しないまたは100%にならない場合がある。

注5:EUは、英国を除く27カ国。また、湾岸諸国とは、アラブ首長国連邦、バーレーン、カタール、オマーンの4カ国を指す。

【生産量】

生産量第1位のブラジルは、干ばつや霜害などの影響を受けて3788万トン(前年度比15.1%減)とかなり大きく減少するものの、世界の砂糖生産量の5分の1強を占めると見込まれる(図2)。

続くインドは、雨季の降雨に恵まれてサトウキビが順調に生育していることから、3450万トン(同3.2%増)とやや増加し、世界の砂糖生産量の5分の1弱を占めると見込まれる。

また、てん菜糖が主体となるEUにおいては、干ばつを記録した前年と比べて降雨量が多く、大規模な病害虫も発生していないため、1703万トン(同12.5%増)とかなり大きく増加すると見込まれる。

【輸入量】

輸入量第1位の中国では、2020/21年度の輸入によって積み増しされた国内の余剰在庫が政府によって放出される可能性があり、これは輸入糖の需要を低下させることから、563万トン(前年度比23.4%減)と大幅に減少し、世界の砂糖輸入量の1割弱を占めると見込まれる。

続くインドネシアも、2020/21年度に国内需要を上回る量の砂糖が輸入されて国内在庫量が増加した反動で、2021/22年度の輸入糖需要は低下すると想定されるため、543万トン(同7.0%減)とかなりの程度減少し、首位の中国と同水準となることが見込まれる。

【消費量】

消費量第1位のインドは、人口の増加や砂糖需要の回復に伴い、2868万トン(前年度比1.0%増)とわずかに増加し、世界の砂糖消費量の約15%を占めると見込まれる。

続くEUは、砂糖需要の回復を受けて1728万トン(同2.3%増)とわずかな増加が見込まれる。

長らく世界の砂糖需要をけん引してきた中国は、 1685万トン(前年度同)と横ばいで推移し、EU と同水準の消費が見込まれる。

【輸出量】

輸出量第1位のブラジルは、砂糖の減産のほか、 コロナ禍における物流の混乱を背景とした海上運賃 の上昇を受けて、インドネシアやアフリカ諸国など でブラジル産の粗糖需要が低下していることから、 2690万トン(前年度比21.0%減)と大幅に減少し、 世界の砂糖輸出の4割強を占めると見込まれる。

続くインドは、砂糖の国際価格が高水準で推移する中、増産見込みを背景に806万トン(同0.3%増) と前年度並みの輸出量が見込まれている。

タイは、砂糖生産量の回復などを背景に、720万トン(同96.1%増)と干ばつの影響を受けた前年度からほぼ倍増となると見通されるものの、大幅な増産となった2017/18年度や2018/19年度の輸出量(約1000万トン)には届かない状況にある。

3. 国際価格の動向

ニューヨーク粗糖先物相場の動き(8/2~9/13)

~8月中旬には4年半ぶりの高値である20セント越えとなるも、9月は反転~



図3 ニューヨーク粗糖先物相場の動き

資料:インターコンチネンタル取引所 (ICE) 注:期近10月限の値。

ニューヨーク粗糖先物相場の2021年8月の推移 を見ると(10月限)、5日は、ブラジルの砂糖生産量

が干ばつや霜の影響により減少するとの予測が市場に広まったことで、1ポンド当たり18.62セント(注1)と急伸した。10日は、ブラジルさとうきび産業協会(UNICA)が7月後半の主産地(中南部地域)の砂糖生産量が前年同期から1割以上落ち込んだと発表したことなどから、同19.59セントまで急伸した。11日以降も、ブラジルの干ばつ、霜の影響への懸念、エタノール価格の上昇を受けて高水準で推移し、16日は、同20.03セントと4年半ぶりの高値を記録し、18日は同20.17セントまで上昇した。19日は、原油価格の下落(注2)などに伴い同19.79

セントまで値を下げ、その後1週間はもみ合いが続

いた。27日は、国際砂糖機関(ISO)が2021/22 年度における世界的な需給のひっ迫度合いを5月予 測から引き上げたことやレアル高^(注3)を背景に、 同20.04セントと再び20セント台まで回復した。

9月1日は、原油価格の動きに影響を受けて同19.67セントまで値を下げた。2日は同19.90セントまで値を戻したが、3日以降はブラジルでまとまった降雨が予報されたことやタイ産砂糖の増産予測などから下落傾向で推移した。10日は、UNICAの発表した8月後半における中南部地域の砂糖生産量が前年からわずかに増加したことで、同18.79セントと下落した。13日は、ブラジルで今後1週間は降雨の確率が低いと予測されたことなどが材料となって、同18.98セントまで値を上げた。

- (注1) 1ポンドは約453.6グラム、セントは1米ドルの 100分の1。
- (注2) 一般に、原油価格が下落すると、石油の代替燃料であるバイオエタノールの需要も低下する。バイオエタノールの需要低下により、その原料作物(サトウキビ、てん菜など)のバイオエタノール生産への仕向けが減る一方、それらから生産される食品(サトウキビの場合は砂糖)の生産・供給が増えると想定される。食品用途仕向けの度合いが大
- きくなるほど需給が緩和し、当該食品の価格を押 し下げる方向に作用する。
- (注3) 粗糖は米ドル建てで取引されるため、米ドルに対してレアルが上昇すると、相対的にブラジル産粗糖の価格競争力が低下する。世界最大の砂糖輸出国ブラジルの輸出意欲が低下すると、需給のひっ迫につながることから、価格を押し上げる方向に作用する。

4. 世界の砂糖需給に影響を与える諸国の動向(2021年9月時点予測)

ブラジル

- 2021/22年度(4月~翌3月)の見通し

【サトウキビ】

収穫面積:869万ha(前年度比0.2%減) 生産量:5億6900万トン(同13.4%減) 【砂糖(甘しゃ糖)】

生産量:3788万トン(同15.1%減) 輸出量:2690万トン(同21.0%減)

2021/22年度の砂糖生産量はかなり大き く、輸出量は大幅に減少する見込み

2021/2022年度(4月~翌3月)のサトウキビ 収穫面積は、869万ヘクタール(前年度比0.2%減) と横ばいで推移すると見込まれる(表2)。サトウ キビ生産量は、中南部地域において乾燥気候が継続 している上、7月頃に霜害も発生したことにより、 5億6900万トン(同13.4%減)とかなり大きく減 少すると見込まれる。砂糖生産量は、原料の減産を受けて3788万トン(同15.1%減)とかなり大きく減少すると見込まれる。輸出量も、砂糖の減産や、コロナ禍における物流の混乱を背景とした海上運賃の上昇を受けて、インドネシアやアフリカ諸国などでブラジル産の粗糖需要が低下していることから、2690万トン(同21.0%減)と大幅に減少すると見込まれる。

表2 ブラジルの砂糖需給の推移

(単位:千ha、千トン、%)

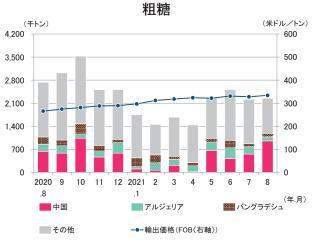
	年度	2018/19	2019/20	2020/21	2021/22 (8月予測)	2021/22 (9月予測)	前年度比 (増減率)
サ	トウキビ収穫面積	8,649	8,599	8,702	8,633	8,687	▲ 0.2%
+	ナトウキビ生産量	620,832	642,677	657,162	591,000	569,000	▲ 13.4 %
	生産量	31,225	31,804	44,597	38,290	37,880	▲ 15.1 %
	輸入量	3	2	2	2	2	▲ 17.4 %
砂	消費量	10,374	10,842	10,996	11,015	11,021	0.2 %
糖	輸出量	21,017	20,321	34,038	27,316	26,897	▲ 21.0 %
	期末在庫量	3,132	3,774	3,340	3,298	3,304	▲ 1.1 %
	期末在庫率	10.0	12.1	7.4	8.6	8.7	1.3ポイント増

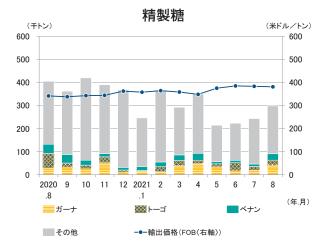
資料: LMC International 「Monthly Sugar Information in Major Countries, September 2021」

注1:2019/20年度および2020/21年度の数値は推定値、2021/22年度の数値は予測値。

注2:期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考)ブラジルの砂糖(粗糖・精製糖別)の輸出量および輸出価格の推移





資料:「Global Trade Atlas」

注1: HSコード1701.14(粗糖) および1701.99(精製糖)の数値。

注2:国・地域別の数値は、直近13カ月の輸出量(累計)上位3カ国を表示。

インド

2021/22年度(10月~翌9月)の見通し

【サトウキビ】

収穫面積:500万ha(前年度比2.3%増) 生 産 量:4億2317万トン(同5.3%増) 【砂糖(甘しゃ糖)】

生 産 量:3450万トン(同3.2%増) 輸 出 量:806万トン(同0.3%増)

2021/22年度の砂糖生産量はやや増加し、 輸出量は前年度並みの見込み

2021/22年度(10月~翌9月)のサトウキビの収穫面積は、500万へクタール(前年度比2.3%増)とわずかに増加すると見込まれる(表3)。主産地の降雨量は平年並みまたは平均を上回っており、生育状況は順調であることから、サトウキビ生産量は4億2317万トン(同5.3%増)、砂糖生産量は3450万トン(同3.2%増)とともにやや増加すると見込まれる。輸出量は、砂糖の国際価格が堅調な状況下において806万トン(同0.3%増)と前年度並みで推移すると見込まれる。

2020/21年度の砂糖輸出量、輸出目標を上回る700万トンに達する

インド消費者問題・食糧・公共配給省は8月19

日、2020/21年度の砂糖輸出量について、8月16日時点で累計700万トン分の砂糖の輸出契約が締結され、同年度の輸出目標である600万トンを上回ったと発表した。このうち600万トン超の砂糖がすでに製糖工場から出荷され、550万トン超が同国から輸出されたとしている。すでに来年度に向けて先渡し契約 (注1) を締結している製糖企業も見られており、同省は「砂糖の輸出によって、国内の需給バランスや価格の安定化がもたらされている」と肯定的な見解を述べた。

7月以降、ブラジル産サトウキビの減産予測を受けて粗糖の国際価格は上昇しており、インド産への需要も高い状況にある。このため、同省は国内の製糖工場に対し、輸出向け粗糖 (注2) の増産計画の策定や、高水準で推移する国際価格を念頭に、速やかな先渡し契約の締結を勧告するとともに、砂糖輸出

を行う製糖工場に対し、国内市場向け砂糖の販売割 当枠を拡大するといった形で増産へのインセンティ ブを与えると発表した。

- (注1) 将来における特定の期間内に、指定された価格に よって売買を行う契約。
- (注2) 同国では一般的に、国内市場向けに白糖、輸出向 けに粗糖が生産されている。

表3 インドの砂糖需給の推移

(単位: 千ha、千トン、%)

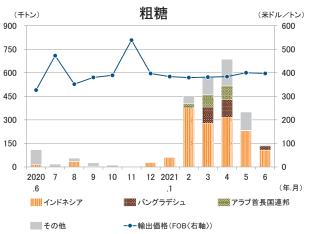
年度		2018/19	2019/20	2020/21	2021/22 (9月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積		4,960	4,642	4,888	5,001	2.3 %
ţ	ナトウキビ生産量	404,528	369,637	401,983	423,166	5.3 %
	生産量	35,798	29,437	33,426	34,504	3.2 %
	輸入量	664	1,687	1,026	432	▲ 57.9 %
砂	消費量	27,540	27,108	28,404	28,680	1.0 %
糖	輸出量	5,483	8,254	8,036	8,061	0.3 %
	期末在庫量	14,963	10,724	8,736	6,931	▲ 20.7 %
	期末在庫率	45.3	30.3	24.0	18.9	5.1ポイント減

資料: LMC International 「Monthly Sugar Information in Major Countries, September 2021」

注1:2019/20年度および2020/21年度の数値は推定値、2021/22年度の数値は予測値。

注2:期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

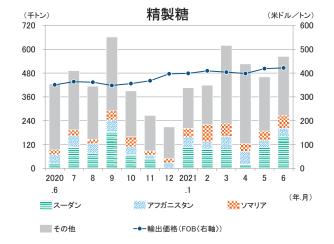
(参考) インドの砂糖 (粗糖・精製糖別) の輸出量および輸出価格の推移



資料:「Global Trade Atlas」

注1: HSコード1701.14 (粗糖) および1701.99 (精製糖) の数値。

注2:国・地域別の数値は、直近13カ月の輸出量(累計)上位3カ国を表示。



中国

- 2021/22年度(10月~翌9月)の見通し -

【サトウキビ】

収穫面積:116万ha(前年度比0.6%増) 生産量:7475万トン(同1.6%増)

【てん菜】

収穫面積:17万ha (同27.1%減) 生産量:883万トン(同28.7%減) 【砂糖(甘しゃ糖およびてん菜糖)】 生産量:1094万トン(同5.1%減) 輸入量:563万トン(同23.4%減)

2021/22年度の砂糖生産量はやや減少し、 輸入量は大幅に減少する見込み

2021/22年度(10月~翌9月)のサトウキビの収穫面積は、116万へクタール(前年度比0.6%増)とわずかな増加が見込まれる(表4)。サトウキビ生産量は、主産地である広西チワン族自治区や雲南省の天候が良好であるため、7475万トン(同1.6%増)とわずかに増加すると見込まれる。一方、同年度のてん菜の収穫面積は、トウモロコシへ転作する農家の増加により(注)、17万へクタール(同27.1%減)と大幅に減少し、てん菜生産量も、883万トン(同28.7%減)と1000万トンを下回ると見込まれる。

砂糖生産量は、てん菜糖生産量の減少を受けて1094万トン(同5.1%減)とやや減少すると見込まれる。輸入量は、前年度の輸入によって積み増しされた国内の余剰在庫が政府によって放出される可能性があり、これは輸入糖の需要を低下させることから、563万トン(同23.4%減)と大幅に減少すると見込まれる。

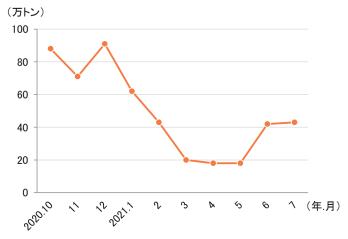
(注) 同国では、アフリカ豚熱からの回復による豚飼養頭数の増加を受けて、飼料用トウモロコシなどの需要が高まりを見せている。詳細は、2021年6月17日付海外情報「中国農業展望報告(2021-2030)を発表(飼料編)(中国)」(https://www.alic.go.jp/chosa-c/joho01_002967.html)を参照されたい。

2020/21年度の砂糖輸入量、前年同期の約 2倍で推移

中国海関総署は8月19日、2021年7月の砂糖 輸入量が前月比2.4%増の43万トンであったと発表 した(図4)。これは、前年同月の輸入数量から 12万トンの増加(前年同月比38.7%増)となる。 昨年末以降の推移を月別に見ると、2021年に入り 減少傾向にあった中、3月から5月は20万トン以 下で推移していたが、6月以降は40万トン台まで 回復している。また、2020/21年度の7月までの 累計では、496万トンと前年同期(255万トン) の約2倍に達し、年度開始後10カ月間の砂糖輸入 量としては過去最高を記録した。増加した要因とし ては、2020年5月21日に砂糖のセーフガード措 置が失効し、関税割当枠外の砂糖に対する追加関税 が撤廃されたことで、国内需要の増加に伴い、輸入 が本格化したことなどが挙げられる^(注)。一方、上 述の通り、同国内の在庫は放出の可能性がうたわれ 余剰感がある中で、今後これらがどのような動きと なるか注目される。

(注)関税割当枠外の砂糖に対する追加関税の撤廃については、2020年6月12日付海外情報「関税割当枠外の砂糖への追加関税を撤廃(中国)」(https://www.alic.go.jp/chosa-c/joho01_002725.html)を参照されたい。

図4 中国の砂糖輸入量の推移



資料:中国海関総署の資料を基に農畜産業振興機構作成

表4 中国の砂糖需給の推移

(単位: 千ha、千トン、%)

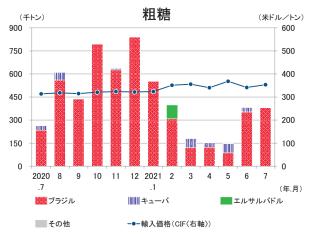
	年度	2018/19	2019/20	2020/21	2021/22 (9月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積		1,219	1,176	1,157	1,164	0.6%
+	ナトウキビ生産量	78,590	76,231	73,600	74,748	1.6%
	てん菜収穫面積	243	213	231	169	▲ 27.1 %
	てん菜生産量	11,670	10,900	12,380	8,831	28.7 %
	生産量	11,640	11,258	11,530	10,942	▲ 5.1 %
	輸入量	5,052	6,684	7,343	5,625	▲ 23.4 %
砂	消費量	16,522	16,414	16,849	16,849	0.0 %
糖	輸出量	210	192	150	215	43.0 %
	期末在庫量	11,233	12,570	14,445	13,949	▲ 3.4 %
	期末在庫率	67.1	75.7	85.0	81.7	3.2ポイント減

資料: LMC International 「Monthly Sugar Information in Major Countries, September 2021」

注1:2019/20年度および2020/21年度の数値は推定値、2021/22年度の数値は予測値。

注2:期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) 中国の砂糖(粗糖・精製糖別) の輸入量および輸入価格の推移



精製糖 (米ドル/トン) (チトン) 120 600 100 500 80 400 300 40 200 100 20 0 2020 8 9 2021 2 .7 (年.月) 韓国 ※※ アラブ首長国連邦 インド その他 -●-輸入価格(CIF(右軸))

資料:「Global Trade Atlas」

注1: HSコード1701.14(粗糖) および1701.99(精製糖)の数値。

注2:国・地域別の数値は、直近13カ月の輸入量(累計)上位3カ国を表示。

E U

- 2021/22年度(10月~翌9月)の見通し

【てん菜】

収穫面積:146万ha(前年度比1.1%減) 生 産 量:1億817万トン(同10.0%増) 【砂糖(てん菜糖)】

生産量:1703万トン(同12.5%増)輸出量:140万トン(同17.7%増)

2021/22年度の輸出量は、大幅に増加する 見込み

2021/22年度(10月~翌9月)のてん菜の収穫 面積は、減少傾向の継続が予測される中、146万 ヘクタール(前年度比1.1%減)とわずかな減少が 見込まれる(表5)。てん菜生産量は、干ばつの影響を受けた過去2年に比べ、今期は生育期間の降雨 量が多かったことを受けて、1億817万トン(同10.0%増)とかなりの程度増加すると見込まれる。砂糖生産量は、てん菜の増産を受けて1703万トン(同12.5%増)とかなり大きく増加すると見込まれる。輸出量は、砂糖生産量の増加に伴い、140万トン(同17.7%増)と大幅に増加すると見込まれる。

表5 EUの砂糖需給の推移

(単位: 千ha、千トン、%)

年度		2018/19	2019/20	2020/21	2021/22 (9月予測)	前年度比 (増減率)
てん菜収穫面積		1,599	1,517	1,475	1,459	▲ 1.1 %
	てん菜生産量	104,192	110,040	98,341	108,171	10.0 %
	生産量	17,083	16,956	15,137	17,034	12.5 %
	輸入量	2,349	2,230	1,875	2,033	8.4 %
砂	消費量	17,547	17,108	16,889	17,283	2.3 %
糖	輸出量	2,391	1,436	1,193	1,404	17.7 %
,,,,,	期末在庫量	1,704	2,346	1,276	1,657	29.8 %
	期末在庫率	8.5	12.6	7.1	8.9	1.8ポイント増

資料: LMC International 「Monthly Sugar Information in Major Countries, September 2021」

注1:2019/20年度および2020/21年度の数値は推定値、2021/22年度の数値は予測値。

注2:期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) EUの砂糖生産見通しおよび国別の生産割合(2021年4月時点)

EUの砂糖生産見通し

6,000 5,000 4,000 3,000 1,000 ドイツ フランス ポーランド オランダ その他

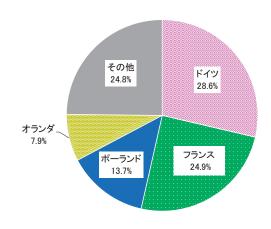
2019/20年度 2020/21年度

資料:欧州委員会 注1:精製糖換算。

(チトン)

注2:2020/21年度は予測値。

国別の生産割合



資料:欧州委員会

注:2020/21年度の予測値に基づく割合。

5. 日本の主要輸入先国の動向(2021年9月時点予測)

近年、日本の粗糖(甘しゃ糖・分みつ糖〈HSコード1701.14-110〉および甘しゃ糖・その他〈同1701.14-200〉の合計)の主要輸入先国は、豪州およびタイで、2020年の主要輸入先国ごとの割合を見ると、豪州が86.6%(前年比5.2ポイント増)、タイが10.5%(同8.1ポイント減)となっており、2カ国でほとんどを占めている(財務省「貿易統計」)。

豪州

- 2021/22年度(4月~翌3月)の見通し

【サトウキビ】

収穫面積:35万ha(前年度比1.2%減) 生 産 量:3104万トン(同0.3%減) 【砂糖(甘しゃ糖)】

生産量:430万トン(同0.4%増)輸出量:325万トン(同3.1%減)

2021/22年度の砂糖生産量は、わずかに増加する見込み

2021/22年度(4月~翌3月)のサトウキビの 収穫面積は、35万ヘクタール(前年度比1.2%減) とわずかに減少すると見込まれる(表6)。サトウ キビ生産量は、3104万トン(同0.3%減)と前年 度並みで推移すると見込まれる。

砂糖生産量は、サトウキビの可製糖率 (CCS: Commercial Cane Sugar) (注) の上昇を受けて 430万トン (同0.4%増) とわずかな増加が見込まれる。輸出量は、在庫量の減少を背景に、325万トン (同3.1%減) と依然減少傾向が続くと見込まれている。

(注) サトウキビのショ糖含有率、繊維含有率および搾汁 液の純度から算出される回収可能な糖分の割合。

豪州主要砂糖輸出ターミナル、2020/21年 度の純利益はわずかに増加

シュガー・ターミナル株式会社 (STL: Sugar Terminal Limited) (注1) は8月26日、2020/21 年度 (7月~翌6月) の年次報告書を公表した。こ

れによると、同年度の税引き後純利益は、前年度比 1.8%増の2710万豪ドル (22億2220万円: 1豪ドル=82円 (注2)) とわずかに増加した。ピーク時には220万トンの粗糖が同社のターミナルに保管されたほか、同年度は船積み作業も滞りなく行われ、年間で合計110隻の船が発着した。STLは、コロナ禍においても質の高いサービスを維持し、従業員の安全も守ることができたとしている。事業の多角化に関する取り組みとしては、同社のターミナルの一つが存在するクイーンズランド (QLD) 州バンダバーグ港の運営企業と協力し、既存の砂糖用ターミナルに砂糖以外の商品を扱う施設を併設するための詳細な設計を行うことを決定した。最終的な投資決定は2022/23年度に行われる予定としている。

- (注1) 豪州のQLD州に六つの砂糖輸出ターミナルを所有 し、同国産粗糖の9割以上を取り扱う。貯蔵能力 は250万トン。年間約400万トンの粗糖に加え、 糖蜜、木質ペレット、鉱物(石こう、けい砂など) など計460万トン以上の商品を取り扱う。
- (注2) 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社「月末・月中平均の為替相場」の月末TTS相場。

表6 豪州の砂糖需給の推移

(単位:千ha、千トン、%)

	年度	2018/19	2019/20	2020/21	2021/22 (8月予測)	2021/22 (9月予測)	前年度比 (増減率)
Ħ	トウキビ収穫面積	379	364	354	350	350	▲ 1.2%
-	サトウキビ生産量	32,493	30,044	31,132	31,459	31,035	▲ 0.3%
	生産量	4,717	4,293	4,281	4,355	4,297	0.4 %
	輸入量	18	16	10	15	15	50.6 %
砂	消費量	1,044	1,056	1,036	1,062	1,062	2.5 %
糖	輸出量	3,562	3,449	3,357	3,313	3,253	▲ 3.1 %
	期末在庫量	971	776	674	670	671	▲ 0.5%
	期末在庫率	21.1	17.2	15.3	15.3	15.5	0.2ポイント増

資料: LMC International 「Monthly Sugar Information in Major Countries, September 2021」 注1:2019/20年度および2020/21年度の数値は推定値、2021/22年度の数値は予測値。

注2:期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

タイ

- 2021/22年度(10月~翌9月)の見通し ―

【サトウキビ】

収穫面積:143万ha(前年度比3.9%減) 生 産 量:8400万トン(同26.0%増)

【砂糖(甘しゃ糖)】

生 産 量:970万トン(同23.8%増) 輸 出 量:720万トン(同96.1%増)

2021/22年度の輸出量は、前年度から大幅 に回復する見込み

2021/22年度(10月~翌9月)のサトウキビ収 穫面積は、種苗の不足^(注) やキャッサバなどの他作 物との競合により、143万ヘクタール(前年度比 3.9%減)とやや減少すると見込まれる(表7)。 サトウキビ生産量は、前年度が干ばつの影響を大き く受けた中、主産地の降雨量が平年並みまで回復し、 単収が大きく改善することで、8400万トン(同 26.0%増)と大幅に増加すると見込まれる。

砂糖生産量は、サトウキビ生産量の大幅な回復を 受けて970万トン(同23.8%増)と大幅に増加す ると見込まれる。輸出量も、記録的な不作となった 前年度からの反動を受けて、720万トン(同96.1% 増)と大幅に回復し、前年度比で倍増に迫る状況と なることが見込まれる。

(注)種苗が不足した要因として、2019/20および2020/ 21年度におけるサトウキビの収穫面積や単収の減 少が挙げられる。

表7 タイの砂糖需給の推移

(単位: 千ha、千トン、%)

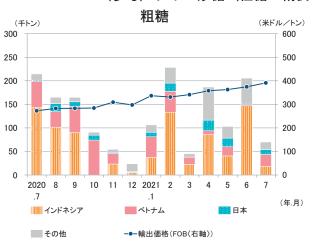
年度		2018/19	2019/20	2020/21	2021/22 (9月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積		1,913	1,714	1,485	1,427	▲ 3.9 %
#	ナトウキビ生産量	130,970	74,893	66,659	84,000	26.0 %
	生産量	15,457	8,807	7,835	9,696	23.8 %
	輸入量	4	59	58	3	▲ 94.8%
砂	消費量	3,737	3,773	3,700	3,694	▲ 0.2%
糖	輸出量	10,113	8,162	3,669	7,195	96.1 %
	期末在庫量	7,899	4,830	5,355	4,165	▲ 22.2 %
	期末在庫率	57.0	40.5	72.7	38.3	34.4ポイント減

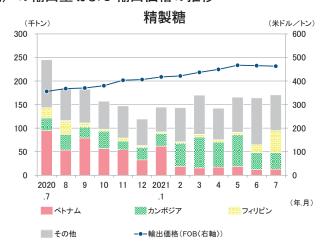
資料: LMC International 「Monthly Sugar Information in Major Countries, September 2021」

注1:2019/20年度および2020/21年度の数値は推定値、2021/22年度の数値は予測値。

注2:期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) タイの砂糖 (粗糖・精製糖別) の輸出量および輸出価格の推移





資料:「Global Trade Atlas」

注1:HSコード1701.14(粗糖) および1701.99(精製糖)の数値。

注2:国・地域別の数値は、直近13カ月の輸出量(累計)上位3カ国を表示。